



第 37 号
 編集発行所
 〒990-2492
 山形市鉄砲町一丁目15-64
 山形県立山形西高等学校
 嚶鳴同窓会
 電話 023-641-3504



繋がり合う嚶鳴の絆

会長 武田 美津子 (昭和39年卒)

誰もが予想し得なかつた東日本大震災。

未曾有の津波が発生し、多くの尊い命と地域が一瞬にして奪われるという甚大な被害をもたらしました。

大津波の爪痕が残るその映像に、涙して視るばかりで言葉が出てきませんでした。そして、東京の混乱や福島原発の事故など、深刻な状況に新たな衝撃を受けております。

同窓会員の皆様の中には、被災された方もおられるのではと案じております。

幸いにも山形は小さな被害で済みました。山形県民は、東北は一つという気持ちになつております。復興、原発収束の道のりは、長く遠いこ

とを思うと胸が痛みます。日災を契機に「絆」という人との繋がり大切さを再確認させられています。

共に、一日も早く平穏な生活が訪れますことを願っております。

3月11日を境に、「幸せという物差し」は大きく変わってきたのではないのでしょうか。毎日のように、テレビやラジオで流れた詩人・作詞家の宮澤章二さんの詩『行為の意味』の一節「心はだれにも見えないけれど……心づかいは見える。……思いは見えないけれど……思いやりはだれにでも見える」のCMは、私たちの心に「絆」の大切さを訴えていました。

人間関係がますます希薄になつている今、私たちは大震



笑顔と知性が輝き、思いやりと気品のある生徒の育成をめざして

校長 神保 潔

嚶鳴同窓会の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成22年度も知・徳・体の調和の取れた人材の育成を目指して学習、部活動、校友会活動、学校行事、ボランティア活動等に全力で取り組みました。学習面では、国公立大

登山部、卓球部が沖縄県を中心に開催されたインターハイに出場しました。文化部においても文芸部、美術部、放送部、弁論部が宮崎県で行われた全国高校総合文化祭に出場するなど文武両道を高いレベルで実践しております。

学現役合格率64%をはじめ山形県を代表する進学校にふさわしい進学実績をあげることができました。今後とも基礎学力はもちろんのこと、思考力や判断力、表現力の一層の充実に努めてまいります。

また、運動部においてはテニス部、水泳部、なぎなた部

平成23年度の教育活動を始めるにあたって、本校教育の一層の充実と生徒一人ひとりの可能性を引き出す授業を目指す(1)何事にも懸命に取り組む、本校に学んでいることを誇りに思う生徒 (2)常に本物を志向し、学問に謙虚に取り組む生徒 (3)「嚶鳴精神」を愛し、笑顔と知性が輝き、



平成23年度 総会のお知らせ

大勢の方のご参加をお待ちしています。

- と き 11月20日(日) 午前10時30分開会
- と ころ パレスグランドール (山形市荒瀬町一丁目17-40)
- 会 費 5,000円
- アトラクション 歌とお話 女優 渡辺 えり

◎チケット購入のお問合せ TEL 090-2023-1345 (同窓会総会当番学年/チケット担当)



世代を超えて 平成22年度 嚶鳴同窓会総会

嚶鳴の名の下に

平成22年11月14日(日)、パレスグランデールに於いて嚶鳴同窓会総会が開催されました。当日は、



子美栄 村山 吉山 形県知事

形県知事から、ご自身の当番学年時のご経験や園遊会での皇族の方々とのご挨拶など、ご公務の様子についてお話しいただきました。恩師の渋谷

先生のご挨拶で始まり、議事は佐々木智子副会長の進行の下、厳正に

澄先生からは、当時、「西高という名門校に相応しい進学率に」との機運が高まり、学校の様々な方針や学ぼうとする生徒の気持ち、それに応えようとする教師の気持ち、そして保護者の応援が一体となつて、一定の成果を取ることができたとのお話をお聞きし、青春時代のページとして私達の心に深く刻まれていることを改めて思い起こしました。

滞りなく進められました。議事の終わりに、清野和子副会長から、評議員会およびクラス幹事会において、卒業後20年を経た

黒田聖司前校長先生のご発声で乾杯となり、各卓とも歓談が弾まれたご様子でした。総会の最後には、嚶鳴女声合唱団と、チェリストの増川大輔さんから美しい演奏を聴かせていただき、校歌斉唱で閉

され、承認されました。引き続き行われた祝賀

この度祝賀を受けられた方は、米寿9名、喜寿76名の皆様でした。代表して、米寿の佐藤トシ様から、日支事変が始まる中、伝統ある学舎で

式典では、吉村美栄子山

勉学に精進されたご様子と、生きがいのある老後を迎えるために、現在もスポーツや茶道を通して若い世代と交流されていることなどお話しいただきました。喜寿の安藤朋子様は、終戦の翌年の受験入学の様子や様々な思い出をお話しくださしました。また、

全学年から評議員を選出

無い物尽くしの時代の中、「希望」と「自由」があった当時の想いが込められた学年の文集をご披露いただきました。

するとされたことが報告

アトラクションは、直派若柳流の名取若柳貴高(平子貴恵)とその師範であられる若柳貴由美様による日本舞踊三題をお楽しみいただきました。

され、承認されました。

私達当番学年生が、嚶鳴同窓生の一員である誇りと喜びを感じ、一体となつて総会を終えることができましたのも、皆様の温かいご支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。



先生 渋谷 澄

(平成22年卒 氏家美由紀)

今年もまた

変わらずに

嚶鳴同窓会東京支部

<http://www.ounmei.jp>

6月12日(日)、今年もホテルオークラ東京・平安の間にて平成23年嚶鳴同窓会東京支部総会が開催されました。

東日本大震災のため、一時は開催が危ぶまれた今年の総会でしたが、笠井ひで子支部長以下役員の「このような時だからこそ開催が必要」と



恩師・大場玲子先生を囲んで



新卒生代表のあいさつ

でしたが、笠井ひで子支部長以下役員の「このような時だからこそ開催が必要」と

続いて東京嚶鳴女声合唱団の美しいハーモニーが披露された後、総会は「故郷」の全員合唱で締めくくられました。故郷の大切さ、変わらぬ懐かしい顔と再会できる喜びをかみしめた一日となりました。(昭和59年卒 奥山 由子)

平成23年度

支部総会に向けて

嚶鳴同窓会寒河江支部

平成23年度嚶鳴同窓会寒河江支部総会は、5月21日(土)と決定し、総会後のアトラクションには同窓生でもある吉村美栄子山形県知事に講演をお願いしました。

うことになっていました。ところがその日、あの大震災が発生したのです。停電は夜になつても回復せず、電話は不通、役員会中止の連絡も取れぬまま不安な夜を過ごしました。

被害は想像を絶するものでした。急遽集まった三役の意見は「同窓会どころではないのでは」というものでした。5月21日の総会は一且取り止



6月初旬、山形市の閑静な住宅街に鈴木雅子先生をお訪ねしました。手入れの行き届いた純和風のお庭が初夏の日差しに映える中、ご長男様からの母の日のプレゼントのTシャツに身を包まれた先生が、笑顔で門まで出迎えてくださいました。玄関には、ご主人の描かれた絵とご次男様とお嬢様からのお花が二つ生き生きと飾られていて、先生のお人柄とご家族の温かさがうかがえました。

案内いただいた居間にも、ご自身とご主人の描かれた絵とお孫さん達の写真や折り紙作品が沢山飾られ、また、読書家の先生らしく作り付けの書棚に本がびっしり。そして囲碁盤がどっしりと置かれていました。

退職後、ボタニカル・アートの杉崎紀世彦先生に学ばれたという先生の絵はとても素敵で、本物の花々がそこに咲いているようでした。しかし網膜を患い、完治はしたものの絵はおやめになったとの事。「どこでも読書するから、それが原因かしらね」と少し残念そう。その後にご主人が杉崎先生に絵を習われたそうで、



先生が描かれたラディッシュ

先生に絵を習われたそうで、

お二方の溢るる感性とご夫婦で共通のご趣味をもたれる仲の良さに羨ましくなりました。また、囲碁は二段の腕前との事。木口マサエ先生にお誘いを受け始められ、現在は公民館で碁を打ってこられるそうです。

囲碁師を訪ねて

穏やかな笑みに包まれて

鈴木 雅子 先生



後に55歳で早期退職。お医者様のご主人も帰宅が遅く、お母様には感謝の日々だったとの事。いつの時代も職業と家庭をもつ女性は忙しいものですが、西高での先生の印象は、いつも穏やかな笑みをたたえてたおやかに話される聖母のような人格者。退職後の講師を含め、計17年間母校に奉職されました。「授業では、話していること全てが吸い取り紙のように生徒に浸透していくようでした。質問にも何でも答え、へたなことはいえないと思いました。夏山合宿でも勉強に熱心で、夜の12時でも質問にきました。科学部の顧問として、生徒と酒田へ行つたことも楽しい思い出です」と当時を語ってくださいました。しかし、中学校が荒れた時代の生徒達が在籍していた時は、頭を悩まされる事もあったそうです。

先生は第1回山形県教員採用試験合格者。山形大学理学部化学科を卒業後、東根工業高、楯岡高に勤務され、昭和55年に母校山形西高に赴任なさいました。そして平成2年、お子様3人をお母様に育てていただいたので親孝行のために、西高を最

先生は第1回山形県教員採用試験合格者。山形大学理学部化学科を卒業後、東根工業高、楯岡高に勤務され、昭和55年に母校山形西高に赴任なさいました。そして平成2年、お子様3人をお母様に育てていただいたので親孝行のために、西高を最

代先生のお宅で夜遅くまで語らつたりした事等、女学生のよいうな表情で話してくださいました。小学生の時から数学が一番お好きで得意だった先生が、化学の道へと決心されたのも高校時代だそうです。1年時の担任が化学の先生で、最初のテストで良い点数をとり、化学が好きなようになったとの事。当時は、自家用の実験セットを各々購入し、化学の授業の時は家から持っていく、課題等は友達と家でも実験したそうです。

今でも一番の友人は高校時代の方々の事。会食や旅行を楽しまれていらつしやるそうです。今年の同窓会総会では、共に喜寿のお祝いを受けられるとの事。最後に、高校時代に一生の友達を作る事、若い時こそ大いに読書したり見る・聴く何でも体験したりする事と西高生にお言葉をいただきました。

先生は同窓会の校内理事としても活躍。殊に、創立90周年記念事業や当時は学校で作成していた同窓会名簿の仕事にご尽力いただきました。ご自身の高校時代に話が及ぶと、変遷する学制改革の中で南高第1回生として入学した事、科学部で石鹸を作った事、友達と本屋や映画に行つたり見立干

道木並

昭和51年卒 たなか ゆうこ

幼い頃、毎晩のように祖母が昔話をしてくれました。一番のお気に入りは『桃太郎』でした。
「むがす、むがす、あるどこさ、爺ちゃんとお婆ちゃんがいだんだっけど……」

何度も聞いていたのに、物語がはじまると、いつも胸がわくわくしたものです。

お爺さんは山に柴刈りに、お婆さんは川へ洗濯に。そして、お婆さんが、上流からドンブラコ、ドンブラコと流れてきた大きな桃を拾い、その桃の中から元気な男の子が……。
「桃太郎はどんぶりでご飯食って、今度は金かね」のたらいで食つたんだど」

訥々とした祖母の語りにあわせて、私の頭の中の桃太郎は、どんどん膨らんでいきます。
「そんなも足んねくて、風呂桶にご飯盛って食うようになったんだど」

こうして立派に成長した桃太郎は、犬、猿、キジを家来にして、鬼が島へ鬼退治に。見事、鬼をやっつけ、荷車いっぱい宝物を積んで帰ってきて、めでたし、めでたし……。

この祖母が話してくれた『桃太郎』が、昔から語り継がれた物語だと、ずっと思つていました。ところが、桃太郎のご飯茶碗が「どんぶり」から「たらい」になり、「風呂桶」へと、だんだん大きくなっていく場面は、なんと祖母の創作だったのです。それがわかったのは、ずいぶん後になってから。あの地味で無口だった祖母のどこに、こんなにも豊かな想像力が隠れていたのか……不思議でなりません。

「はあちゃん、今なら百歳の語り部になつたね」。時折、空を見上げて話しかけています。

（訪問者）
昭和46年卒 青木 智子
昭和63年卒 楯 郁子



「コミュニティアーキテクト」って、ご存じですか？一言でいうと「地域に根ざした建築・まちづくりに関わる建築士」。地域に根を下ろし、ポランテニア精神で、地域固有の空間形成を実現したり誘導する担い手、といったところでしょうか。

私は一級建築士として、二十数年間東京の設計事務所に勤務した後、独立し、7年ほど前に東根に戻ってきました。

コミュニティアーキテクトをめざして

昭和52年卒 五十嵐 理恵

勤務時は、個人住宅から集合住宅、駅舎や温泉施設に至るまで、実に様々なプロジェクトに取り組みことができ、建築人生の中で大きな財産になっていきます。

戻った当時は、仕事は言うに及ばず、人脈づくりも含めて全てゼロからのスタートでした。そんな中で見いだしたのが、地域にできること。いつの間にかNPO法人の理事長として、住民目線でのまちづくり活動に参加することとなりました。多くの方々を育てられ、支えられ、現在は東根市

さくらんぼ図書館の指定管理者として、館長業務に奮闘しています。

建築とは異質な分野ですが、「ひとづくりはまちづくり」の視点では決して横道ではないはず。この度の大震災を契機に、建築士には今まで以上に地域との関わりが求められることでしょう。商店街の賑わい創出や景観づくりのワークショップに参加しながら、これも一つの糧として、「コミュニティアーキテクト」を目指しています。



不安がないわけではない。だが、また登りたいという思いがある。更に一年程度のリハビリが必要だろう。気を楽にして乗り越えていこうと思う、いやそう自分に言い聞かせ奮い立させている、今日の頃である。



幼稚園と共に歩んだ50年……

昭和14年卒 佐藤 フサ

この度、嚶鳴同窓会報に、今している仕事について書く様にと御連絡があり、県の最北端の遊佐町に住み、同窓会にも御無沙汰のみの私如き者が、大切な紙面をけがしてもよいのだろうかと頭を痛めている所でございます。

私は前に長く同窓会長を務められました相澤榮様と同級で、机はいつも相澤様の前で

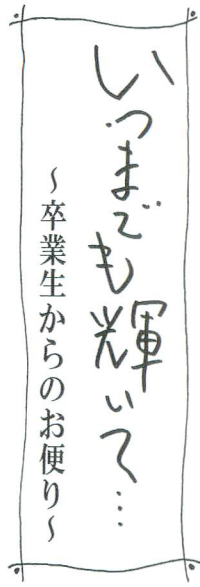
振り返ってみますと、私が生まれ現在に到るまでの年月の間には、世界も日本も実に様々な出来事があり、その後半を義母の残した幼稚園で、若い先生達、可愛い園児達に囲まれて、いつの間にか50年という月日が流れ過ぎました。

義母は明治43年に女子師範を卒業。退職後、同じ退職女教員のお仲間と、地域の幼児教育と母親教育のため、余生

を捧げようと昭和37年4月に学校法人「杉の子幼稚園」は開設されたのです。ちよっとお手伝いとして私も加えさせていただけました。が初代の方々も亡くなり、残る私が皆様の夢の実現のため微力を尽くしている所です。

現在は少子化時代で、園児は多い時代の3分の1位ですが、他を思いやる事の出来るやさしさと、何事もあきらめず挑戦する強い心をもった人間になる様に願ひ、卒園の頃には成長の姿をみせてくれます。また、お母さん達も自主的にいろいろな仕事に取り組み気風が引き継がれ、近年お父さん達も

園と子どもの役に立ちたいと、「おやじの会」を作り、活発な動きが始まり、両者の働きは子ども達にとっても大切な宝だと感謝しております。保護者の中に多くの卒園生の姿があり、この絆を大切に歩みたいと願いつつ過ごしています。



お別れパーティーで、子どもたちの作ったゼリーをいただいているところ

モチベーション

前向きな気持ちを持ち続けるために

昭和63年卒 安藤 詠子

大学を卒業し山形県庁に入庁した。ペテランの域に達しているはずだったが、所属が変わり新しい業務に就く度に、課題を前に悩んでしまう。それでも、お礼や励ましの一声を頂ける時は本当に嬉しく、これが私にとって仕事のモチベーションとなる。

さて、私生活でモチベーションを保ち続けているものに、趣味(若干、それ以上)のクライミングがある。山好きの両親の影響で子供の頃から登山に親しみ、高校でも登山スキー部に迷わず入部した。そして、大学でも登山サークルに入り、卒業後も山登りを楽しんで来たが、クライミングに出会ったのは就職してから5年も経てからだ。それから

生活が一変した。親の不安な顔を横目に、週末となる岩場やクライミングジムに登りに行った。県内の競技人口が少なかったこともあって、国体に出場する機会も得た。登りきった時の達成感、コンペでのくやしき、自然の中の開放感、様々なものを味わうことができる。何よりも登ることは本当に楽しい。少し長めの休暇をとって、友人達とアメリカやタイなど海外でのクライミングも幾度となく満喫しているのは幸せなことだと思ふ。これからも、ずっと続けていきたいと思っている。

だが、昨年11月に左膝に思わぬ大けがを負ってしまった。現在クライミングは休止中だ。半年以上通院している。もう一度手術をしてのリハビリは年齢的にも楽ではなく、こちらモチベーションを継続できるかが鍵だそう。



平成22年度 主行事務報告

平成22年	4月30日	同窓会会計監査	本校嚶鳴会館事務室
	5月7日	第1回評議員会	本校嚶鳴会館食堂
	5月10日	嚶鳴三会会長副会長会	
	6月13日	東京支部総会	ホテルオークラ東京
	6月23日	校内合唱コンクール	山形県県民会館
	8月17日	第2回評議員会・第1回クラス幹事会	本校図書館・本校101教室
	11月14日	平成22年度同窓会総会	パレスグランデール
	12月18日	次年度当番学年へ引継ぎ会	パレスグランデール
平成23年	2月28日	同窓会入会式	本校嚶鳴会館和室
	3月1日	第57回卒業証書授与式	本校体育館
	3月28日	三役引継ぎ会	本校嚶鳴会館事務室

平成22年度 維持会費納入状況 (平成23年6月20日現在・納入者氏名省略)

◎平成22年度分で平成22年4月1日～平成23年6月20日までに納入されたもの ※165クラス分 495,000円

南高	昭和27年	1～5組	西高	昭和40年	1～6組	西高	昭和57年	1・2組
	昭和28年	1～4組		昭和41年	1～6組		昭和58年	1～6組
	昭和29年	1・5組		昭和42年	1・2・3・4・6組		昭和59年	1・4組
西高	昭和30年	1～4組		昭和43年	1～6組		昭和60年	1～6組
	昭和31年	1・3・4組		昭和44年	1～6組		昭和61年	3組
	昭和32年	1～4組		昭和45年	2・3・5・6組		昭和62年	1～7組
	昭和34年	1～3組		昭和46年	1～6組		昭和63年	1～7組
	昭和35年	1～5組		昭和47年	1～6組		平成元年	1～7組
	昭和36年	1～5組		昭和48年	1～6組		平成2年	1～7組
	昭和37年	1～5組		昭和49年	1・2・3・6組		平成3年	1～7組
	昭和38年	1～5組		昭和50年	6組			
	昭和39年	1～5組		昭和55年	1～6組			

◎平成22年度分で平成22年3月31日までに前納されたもの

南高	昭和29年	2・3・4組	西高	昭和49年	4・5組	西高	平成4～22年	全クラス
西高	昭和33年	1～4組		昭和50年	5組			
	昭和45年	1・4組		昭和58年	6組			

- 会報編集委員 (評議員)
- 長岡 玲子
- 小松 節子
- 奥山 潤子
- 富山 史江
- 小松 由美子
- 富松 史江
- 佐藤 郁子
- 会報担当校内理事
- 木村 美香
- 古瀬 孝子
- 青木 智子
- たなか ゆう子
- 武田 靖子

「絆」とは、人と人との結びつきを離れがたくつなぎとめていっているもの。今年ほどこの「絆」という言葉の大切さが身にしみたことはなかったのではないだろうか。卒業生、先生方、在校生との嚶鳴の絆を、一年に一度、同窓会報を読みながら感じていただければ幸いです。

今回も多数の皆様から紙面作りにご協力いただきました。心より感謝申し上げます。次号も引き続き同窓生の活躍など情報をお寄せ下さい。お待ちしております。

山形西高のホームページにも様々な活動を掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

(昭和63年卒 武田 靖子)



同窓会報へのお便りをお待ちしております

宛先 / 〒990-2492
山形市鉄砲町1-15-64 山形西高校内
嚶鳴同窓会報編集室「同窓生からのお便り」係

お願い / 卒業年度、住所、電話番号をご記入の上
お送りください。

問合せ / TEL 023(641)3504 FAX 023(641)3516
山形西高校内 同窓会報担当まで

学校ホームページ / <http://yamanishi.webpage21a.jp/>

平成22年度 嚶鳴同窓会基本金決算

1 収入の部

(単位：円)

1. 前年度繰越金	13,281,143
2. 総会ご芳志	605,000
3. 総会残金	31,741
4. バッジ立替分(22年度分)	75,000
5. 定期預金利息	9,803
6. 普通預金利息	1,124
合計	14,003,811

(内、定期預金 7,400,000)

2 支出の部

(単位：円)

1. 23年度総会補助(振込手数料含む)	301,050
2. 総会経費(写真代・役員会)	141,692
3. 賀寿記念品代	73,500
4. 勤続10年表彰記念品(振込手数料含む)	45,525
合計	561,767

3 差引残高 14,003,811円 - 561,767円 = 13,442,044円
 定期預金 7,400,000円
 普通預金 6,042,044円

平成22年度 経常費決算

1 収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
入会費	708,000	708,000	0	3,000円×236人(平成21年度卒業生分)
会費	1,208,000	1,208,000	0	708,000円(3,000円×236人:会費20年分)+500,000円(維持会費より毎年繰り入れ分)
繰越金	242,036	242,036	0	21年度残金
雑収入	64	131	67	預金利子
計	2,158,100	2,158,167	67	

2 支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	残 額	摘 要
総会費	790,000	790,000	0	総会、東京支部総会
会議費	190,000	164,967	25,033	評議員会、クラス幹事会など
後援費	70,000	46,000	24,000	会員後援など
記念品費	75,000	75,000	0	新入会員の記念品費
印刷発行費	320,000	326,550	-6,550	会報印刷、封筒印刷
事務費	8,000	5,341	2,659	事務用品など
通信費	120,000	82,460	37,540	連絡通信用葉書、切手など
慶弔費	90,000	57,360	32,640	会員慶弔費など
交通費	290,000	250,360	39,640	三役交通費など
諸費	180,000	152,970	27,030	入会式経費、全国大会出場餞別など
予備費	25,100	0	25,100	
計	2,158,100	1,951,008	207,092	

3 差引残高

(総収入) 2,158,167円 - (総支出) 1,951,008円 = (残高) 207,159円

平成23年度 経常費予算

1 収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	摘 要
入会費	699,000	708,000	△9,000	3,000円×233人(平成22年度卒業生分)
会費	1,199,000	1,208,000	△9,000	699,000円(3,000円×233人:会費20年分)+500,000円(維持会費より毎年繰り入れ分)
繰越金	207,159	242,036		22年度残金
雑収入	41	64		預金利子
計	2,105,200	2,158,100		

2 支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	摘 要
総会費	820,000	790,000	30,000	総会、東京・寒河江支部総会
会議費	190,000	190,000	0	評議員会、クラス幹事会など
後援費	70,000	70,000	0	会員後援など
記念品費	75,000	75,000	0	新入会員の記念品費
印刷発行費	310,000	320,000	△10,000	会報印刷、封筒印刷
事務費	8,000	8,000	0	事務用品など
通信費	110,000	120,000	△10,000	連絡通信用葉書、切手など
慶弔費	90,000	90,000	0	会員慶弔費など
交通費	260,000	290,000	△30,000	三役交通費など
諸費	170,000	180,000	△10,000	入会式経費、全国大会出場餞別など
予備費	2,200	25,100	△22,900	
計	2,105,200	2,158,100	△52,900	